

秋のならまち

ナイトカルチャー

◆期間／10月24日(土)～11月6日(金)

※10/24、10/30、11/3は外国の方限定

※10月26日、11月2日を除く

◆時間／◎午後5時～6時

◎午後5時半～6時半

◎午後7時～8時

◆会場／ならまちセンター・奈良町にぎわいの家・なら工藝館

◆料金／大人 500円 小学生 250円

※狂言鑑賞のみ

大人 1,000円 小学生 500円

10/1より
チケット先行発売!
奈良市総合観光案内所
奈良市観光センター

外国の方限定 定員15名

◎午後5時半～

●10/24(土)
町家で三味線体験奈良町
にぎわいの家●10/30(金)
墨遊び書とすずり体験ならまち
センター

◎午後5時～

●11/3(火・祝)
楽彫り工芸体験なら
工藝館

◎午後7時～

定員70名

(29、31日は40名)

●10/25(日)・11/1(日)
ならまち能鑑賞ならまち
センター●10/27(火)・11/6(金)
雅楽鑑賞ならまち
センター●10/28(水)・11/5(木)
落語鑑賞ならまち
センター●10/29(木)
町家で座敷舞(上方舞)鑑賞奈良町
にぎわいの家●10/31(土)
町家で狂言鑑賞奈良町
にぎわいの家●11/4(水)
狂言鑑賞ならまち
センター

申込・お問合せ

0742-27-1820

奈良市総合財団

ならまち振興事業部門まで <http://narazai.sakura.ne.jp>

秋のならまちナイトカルチャー

開催日 10月24日(土)～11月6日(金) ※10/26、11/2を除く
 ※10/24、30、11/3は外国の方限定

内容

とき	内容	料金	会場
10/25(日)	ならまち能鑑賞	500円	ならまちセンター
10/27(火)	雅楽鑑賞	500円	ならまちセンター
10/28(水)	落語鑑賞	500円	ならまちセンター
10/29(木)	町家で座敷舞(上方舞)鑑賞	500円	奈良町にぎわいの家
10/31(土)	町家で狂言鑑賞	1,000円	奈良町にぎわいの家
11/ 1(日)	ならまち能鑑賞	500円	ならまちセンター
11/ 4(水)	狂言鑑賞	1,000円	ならまちセンター
11/ 5(木)	落語鑑賞	500円	ならまちセンター
11/ 6(金)	雅楽鑑賞	500円	ならまちセンター

【時間】午後7時～8時 / 定員70名(29、31日は40名)

- 時間 / ○午後5時～6時
 ○午後5時半～6時半
 ○午後7時～8時

- 会場 / ならまちセンター
 奈良町にぎわいの家
 なら工藝館

- 申込 / 当日、開演時間の1時間前までに
 ならまち振興事業部門へ
Tel.0742-27-1820

※外国の方限定

とき	内容	料金	会場
10/24(土)	町家で三味線体験	500円	奈良町にぎわいの家
10/30(金)	墨遊び書とすずり体験	500円	ならまちセンター
11/ 3(火)	楽彫り工芸体験	500円	なら工藝館

【時間】午後5時半～6時半(11/3は午後5時～6時) / 定員15名

ならまち能鑑賞

演目 / 「経正 (つねまさ)」

世界無形文化遺産である「能」は、鎌倉時代後期から室町時代にかけて完成された日本における代表的な伝統芸能の一つであり、国際的にも広く知られています。ナイトカルチャーでは「ならまち能」と題し、能の見どころのみを出来るだけわかりやすく表現したオリジナルの演出「デッサン能」でお楽しみいただけます。



町家で座敷舞(上方舞)鑑賞

出演者 / 山村若女、山村若瑞、山村若日女、木村佳乃子



上方舞とは江戸中期から末期にかけて上方で発生した舞のことをいい、各流派が独自の発展を遂げました。関東で生まれた「踊り」とは性格が異なります。上方舞の流派のうち山村流、模茂都流、井上流、吉村流を特に「上方四流」と呼びます。最も古い流派である山村流は、三世中村歌右衛門に歌舞伎の振付師として認められた山村友五郎を流祖として、江戸時代に大阪で創流されました。

雅楽鑑賞

雅楽は日本で継承されている伝統芸能の中で最も古い歴史を持つ芸能です。天平時代に奈良の地で花開いた雅楽は、アジア各地の文化の香りを漂わせています。



ナイトカルチャーでは、楽器の解説や雅楽の歴史・唱歌(しようか)のお話などを交え、「笙(しょう)」「篳篥(ひちりき)」「横笛(おうてき)」のアンサンブルをお楽しみいただけます。

狂言鑑賞

演目 / 10月31日「寝音曲」11月4日「千鳥」



室町時代の中ごろに誕生した狂言は、現在「大藏」と「和泉」の2流派があります。「ならまち」の南に位置する川之上町には、江戸時代の終わりのころまで大藏流宗家の屋敷があり「ならまち」と大変縁があります。

ナイトカルチャーでは、大藏流 25世大藏彌太郎師の次男大藏基誠(もとなり)師と大藏流狂言会奈良篠基会主宰の竹内寛(ゆたか)師による狂言をお楽しみいただけます。

落語鑑賞

落語の始まりは室町時代から安土桃山時代にかけて、戦国大名のそばに仕え、話の相手をしたり、世情を伝えたりする「御伽衆(おとぎしゅう)」と呼ばれる人々でした。江戸時代になると上方では、神社や街頭で通行人を対象にした辻噺(つじばなし)として、また、江戸では、座敷に集まった人々を対象とした座敷噺(ざしきばなし)として発展しました。



出演者 / 10月28日 桂 三歩・笑福亭 純飯
 11月 4日 桂 坊枝・笑福亭 純飯

外国の方限定



- 10/24(土)「町家で三味線体験」
 実際に三味線を使ったお稽古を体験していただけます。
- 10/30(金)「墨遊び書とすずり体験」
 見て、感じて、実際に墨を磨り筆で描く体験をしていただけます。
- 11/3(火・初)「楽彫り工芸体験」
 杉板を使ってコースターなどの透かし彫りを作る体験をしていただけます。

